

# RPG シナリオ作成の道具箱

RPG シナリオ作成の道具箱』は、RPG のシナリオ作成を大幅に助けてくれる道具が詰まったサプリメントであり、次のようなことを目指してデザインしました。

この『道具箱』を使って、実際にシナリオが作れる  
この『道具箱』を使って、誰でもシナリオが作れるようになる  
この『道具箱』を使って、すばやくシナリオが作れるようになる

## 実際にシナリオが作れるようになる

何を当たり前のことを言っているのだ、と思われるかもしれませんが、世の中に出ている『シナリオの作り方』の中には抽象的なシナリオ作成方法の解説しかなく、読めばそれなりにためになるものの、実際にそれでシナリオが作れるようになるかという点、'ちょっと無理だろう'と首をかしげてしまうものがあります。

しかし、『RPG シナリオ作成の道具箱』は違います。出来る限り具体的にシナリオ作成をサポートし、『道具箱』に従って作業を進めれば実際に使えるシナリオが出来あがる、というようにデザインしてあります。

## 誰でもシナリオが作れるようになる

世の中に出回っている『シナリオの作り方』は、抽象的であると同時に、それなりにシナリオを作ったことがある人間が読めば理解できるものの初心者ではちょっと無理だろう、という解説が多々含まれています。

たとえば良くあるのが、『起承転結に当てはめてシナリオのストーリーを考えましょう』という解説です。なるほど起承転結と言うのは物語の基本と言われる型ですし、役に立つことは立ちますが、じゃあこう言われた初心者は、物語を思いついてシナリオが作れるのでしょうか？

思いつかなかったら？ たいていは、『今まで読んだ小説や観た映画を参考に』と述べる程度です。

仮に思いついたとしても、果たして自分が思いついたストーリーは妥当なものなのかどうか、初心者には判断できないでしょう。「とりあえず考えたけど、これで良いの？」という疑問が浮かぶはず。しかし当然ながら、そのシナリオが良いものなのかどうか、答えは返ってきません。

しかし、『RPG シナリオ作成の道具箱』は違います。

『道具箱』では、シナリオ作成者に 0 から考えさせる部分を極力排しています。

思いつかなければシナリオが出来ない』とならないように、シナリオを作るにあたっては、選択肢の中から選んでシナリオを作る』というスタイルにしています。シナリオ作成者は思いつく必要はありません。ただ選ぶだけで良いのです。

加えて、『道具箱』で用意されている<シーン><制限><課題>は、ベテランのマスターが長年の経験を生かして作り上げたシナリオの部品であり、それを組み立てできるシナリオにも一定の品質が期待できます。

## すばやくシナリオが作れるようになる

一般にシナリオ作成には時間がかかるものです。時間のかかる部分はあちこちにあるのですが、『RPG シナリオ作成の道具箱』では、このうち『どんなお話にしようか』『どんな難題を PC にぶつけようか』といった部分を考える時間を大幅に短縮します。シナリオ作成者は、この部分を考える必要はなく、選択肢の中から選ぶだけで良くなるのです。

シナリオ作りに時間がかかって、マスターの負担が大きい』という声を良く聞きますが、『道具箱』はそういった悩みも解消してくれます。

## 『道具箱』でサポートしていない部分

### あるいは今後の課題

以上、『道具箱』で出来ること、得意なことを見てきました。しかし、残念ながらRPGシナリオ作成の『道具箱』は万能というわけではなく、次のような部分にはあまり役に立ちません。

ファンタジー以外のRPG: 使えないわけではありません。考え方はとても参考になると思いますが、『道具箱』で出している例などが基本的にファンタジーRPGに特化しているので、SFやホラーなどではそぐわなかったり、良くあるシーンなどが欠けていたりします。

描写: セッションで雰囲気を出すための描写については、『道具箱』では全くサポートしていません。

ストーリー: 『道具箱』では、出来あがるストーリーについては全く考慮していません。美しいストーリーやドラマティックな展開を追及したい場合には、『道具箱』は全く向いていません。

NPC: シナリオにおいて非常に重要な役目を果たすNPC達ですが、『道具箱』ではその作り方、シナリオでの位置付けについて十分に解説されていません。

### 案内板

RPGシナリオ作成の『道具箱』は出来る限りコンパクトにまとめてありますが、それでもそこそこの分量になっています。さて、あなたはどこから読み始めますか...?

#### シナリオを作ったことがない方

➡ ページをめくって、『初めてシナリオを作る方に』を読みましょう。

#### 『道具箱』の概要を知りたい

➡ 『シナリオ作りの基礎』を読みましょう。

#### 『道具箱』を使ったシナリオの作り方を知りたい

➡ 『道具箱』の使い方』を読みましょう。

## RPGシナリオ作成の道具箱』サイトのご案内

PDF版: <http://www.trpg-labo.com/rpg/scenariotool/index.html>

主に印刷して読みたい場合はこちらへどうぞ。Adobe Acrobat Reader 4.0 が必要になります。サイズがやや大きいので、ご注意ください。

掲示板: <http://www.trpg-labo.com/cgi/onthtml//17.html>

『道具箱』に対するご意見・ご感想を書き込むための掲示板です。

ダンジョンシナリオ作成入門講座: <http://www.trpg-labo.com/rpg/dungeon/dungeon.pdf>

RPGシナリオ作成の『道具箱』の姉妹書とも言えるのが、この『ダンジョンシナリオ作成入門講座』です。

ホームページ: <http://www.trpg-labo.com/>

著者 氷川 霧霞のサイトのホームページです。『道具箱』関連の更新情報なども、ここでチェックすることができます。